

## 令和 8 年度 日本植物形態学会 3 賞受賞候補者の募集

本年度も下記の要領で日本植物形態学会 3 賞受賞候補者を募集いたします。自薦・他薦を問わず多くの方々の応募を歓迎いたします。これら 3 賞は、同一年に同時に受賞することも、また繰り返して受賞することもできます。

### 1. 日本植物形態学会 3 賞について

日本植物形態学会は、植物形態学の発展に寄与した研究者を賞賛する目的で、「日本植物形態学会賞」、「平瀬賞」、「日本植物形態学会奨励賞」の 3 賞を設けております。

「日本植物形態学会賞」は、植物形態学の進歩に長年寄与し、植物科学の発展に貢献した研究者に与えられます。「平瀬賞」は、この賞を創設した 1996 年が平瀬作五郎によるイチョウの精子発見の百周年にあたることに因み、平瀬の功績を讃えてその名を冠したもので、植物形態学の進歩に寄与する独創的で優れた論文に与えられます。「日本植物形態学会奨励賞」は、植物形態学の分野で将来の活躍が期待される若手研究者に与えられます。

### 2. 日本植物形態学会 3 賞受賞候補者募集要領

1) 応募資格：各賞とも、本学会員に限ります。

- a) 日本植物形態学会賞に関しては、特に年齢制限はありません。
- b) 平瀬賞に関しては、選考の対象となる論文は、原則として応募する年を含め 5 年以内に国際誌に発表したものとしますが、特に優れた論文はその限りではありません。
- c) 日本植物形態学会奨励賞に関しては、応募する年の 12 月 31 日において、満 40 才未満でなければなりません。
- d) これら 3 賞は、同一年に同時に受賞することも、また、繰り返して受賞することもできます。
- e) 奨励賞または学会賞に応募する場合、同一年において平瀬賞に代表として応募することはできません。
- f) 応募回数は問いません。各賞とも何回でも応募できます。

2) 応募方法：各賞とも他薦、自薦を問いません。**2026 年 6 月 12 日(金) (必着)**までに、以下の資料をいずれも電子ファイルの形で日本植物形態学会事務局に送付して下さい。自薦の場合、推薦書は特に必要としません。

- a) 日本植物形態学会賞：①推薦書（他薦の場合）あるいは応募理由書（自薦の場合）、②略歴書、③論文リスト、④論文別刷（PDF ファイル）。ただし、②～④の提出は、必須ではありません。
- b) 平瀬賞：①推薦書（他薦）あるいは応募理由書（自薦）、②対象となる論文 1 編の別刷（PDF ファイル。その論文が掲載されている国際誌の表紙に、写真や図が採用されている場合には、表紙とその説明文も添付して下さい）、③代表受賞候補者の氏名を記した文書、④代表受賞候

補者が過去に日本植物形態学会で発表したポスターの発表年、発表者、タイトルを記した文書（発表の実績があれば必ず提出して下さい）。

- c) 日本植物形態学会奨励賞：①推薦書（他薦）あるいは応募理由書（自薦）、②略歴書、③論文リスト、④代表的な論文3編の別刷（PDF ファイル）、⑤過去に日本植物形態学会で発表したポスターの発表年、発表者、タイトルを記した文書（発表の実績があれば必ず提出して下さい）。

- 3) 授賞および記念発表：各賞の受賞者は当該年度日本植物形態学会総会のおよそ1ヶ月前までに通知いたします。受賞者には、総会において賞状と記念品を授与いたします。また、受賞者には、本学会の講演会で受賞記念講演を行ない、本学会誌「Plant Morphology」にミニレビューを執筆していただきます。

- 4) 選考方法：各賞の受賞者の選考は、日本植物形態学会によって設けられた選考委員会によって行われます。

### 3. 日本植物形態学会 3 賞受賞候補者選考要領

毎年7月までに選考委員会を設置し、会議によって遅くとも大会の一ヶ月前までに選考を終了する。

1. 選考委員会：選考委員5名で、選考委員会を構成する。
2. 選考委員の選出：選考委員の選出は、「Plant Morphology」編集委員長と評議員（以下、構成員とする）による互選とし、投票（第4項対象者と利害関係者を除いた構成員からの4名連記）によって上位4名を選出し、分野の偏りがないように得票結果を考慮し、会長が第4項対象者と利害関係者を除いた構成員から残り1名を選ぶ。この選考方法で5名の選考委員を選出できない場合は、構成員のうち利害関係者でない者による投票（上記選考方法で選出された選考委員・会長・学会幹事・各種委員長および第4項対象者と利害関係者を除く全通常会員を候補者とする5名連記）を行い、得票上位者から順次、不足分の選考委員を会長が委嘱する。同数の得票者が複数いる場合は、分野の偏りを考慮して、会長が委嘱順位を調整する。また、不足分の選考委員の候補者に特段の理由があり委嘱できない場合等については、適宜会長の判断による。
3. 利害関係者：利害関係者は選考委員になることはできない。利害関係者とは、学会賞と奨励賞の推薦者と候補者、ならびに平瀬賞の推薦者と論文著者全員である。
4. 選考委員の任期：選考委員の任期は1年とし、連続して2期を超えないものとする。
5. 選考委員長の選出：選考委員長は選考委員の互選により選出する。ただし、2期連続して選考委員長を務めることはできない。
6. 受賞者の選考方法：選考委員会は過半数の出席をもって成立する。ただし、メールや電話による出席を認める場合もある。また、受賞者の選考は出席者の全員一致を原則とし、受賞該当者がいない年や複数の受賞該当者がいる年もあり得る。会長はオブザーバーとして選考委員会に

出席できる。

応募書類送付先：

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39-1

熊本大学理学部内

日本植物形態学会事務局（庶務幹事：武智克彰）

Tel: 096-342-3438

E-mail: [ktakechi@kumamoto-u.ac.jp](mailto:ktakechi@kumamoto-u.ac.jp)